

## 原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (平成30年4月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成30年4月に適用する1m<sup>3</sup>当たりの単位料金を、平成30年3月検針分に適用の料金に比べ1.44円(消費税込)上方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成30年4月検針分の単位料金は、平成29年11月から平成30年1月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32m<sup>3</sup>(45MJ/m<sup>3</sup>)のガスをお使いになる標準家庭で、平成30年3月検針分に比較して、46円(消費税込)ガス料金が上がります。

### 供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/m <sup>3</sup> )		基準単位料金 (円/m <sup>3</sup> )
			平成30年4月適用 単位料金(円/m <sup>3</sup> )	平成30年3月適用 単位料金(円/m <sup>3</sup> )	
料金表A	0m <sup>3</sup> から20m <sup>3</sup> まで	799	169.81	168.37	157.09
料金表B	20m <sup>3</sup> をこえ50m <sup>3</sup> まで	1,305	144.48	143.04	131.76
料金表C	50m <sup>3</sup> をこえ200m <sup>3</sup> まで	1,602	138.54	137.10	125.82
料金表D	200m <sup>3</sup> をこえ450m <sup>3</sup> まで	3,155	130.78	129.34	118.06
料金表E	450m <sup>3</sup> をこえ750m <sup>3</sup> まで	5,303	126.00	124.56	113.28
料金表F	750m <sup>3</sup> をこえるもの	10,649	118.88	117.44	106.16

### 標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	平成30年4月検針分の料金	平成30年3月検針分の料金	影響額
32m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	5,928円	5,882円	46円

### 原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
平成29年11月～平成30年1月の 平均原料価格 (b)	49,820 円/t
LNG価格	48,210 円/t
LPG価格	68,300 円/t
差 額 (b-a)	15,120 円/t

[ 参 考 ]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	48,210 円/t	×	0.9608	
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	68,300 円/t	×	0.0513	
			49,823.958 円			
				↓ (10円未満四捨五入)		
			49,820 円/t			

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$49,820 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 15,120 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$15,100 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 15,100 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.08424 = 12.72024 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$12.72 \text{ 円}$$